

各位

伊藤さち 個展「森のとなり商店」開催のお知らせ

このたび2011年6月17日(金)～30(木)に2週間に渡り、「衣服と記憶」をテーマに制作活動をする作家 伊藤さちの個展を開催いたします。「森のとなり商店」とは、作家作の物語「森のとなり商店」を軸とし、物語中の世界観を体感できるような様々な空間を構築していくプロジェクトです。

今回は、2009年夏に開催された序章 (introduction) に続く第1章～第3章を、3つの地域で展開いたします。

作家によれば、物語中の「森」とは、私たちが暮らす社会そのものを表します。

「森のとなりの小屋」は、社会の中のどこにでも出現可能な、人々の意識によって立ち現れる宿場のような場所であり、作家自身はもちろん、いまここに暮らす私たち誰もが、小屋に住み旅人が森に残したものを愛容させるおばあさん、あるいは旅人になり得ることでしょう。

序章は、神奈川県相模原市の元とんかつ屋の建物を利用した「ギャラリーきゃべつ畑」にて、2009年7月に開催されました。今回、第1章は中央線沿線の中野および阿佐ヶ谷エリアで3つの小さな飲食店と、それらをつなぐ道ばたが舞台となります。伊藤が生み出す色や形、テクスチャーをご覧いただける展示に加え、小屋に暮らすおばあさんの仕事を少しでも体験できる2つのワークショップを開催いたします

第2章の会場は、中目黒の駒沢通り沿いにあるギャラリーショップ「sakumotto」。こちらは第1章とはうってかわり、ホワイトキューブ的な空間の中での展示となります。また、第1章のワークショップのアーカイブもご覧いただけます。

第3章では、祐天寺から烏山に移転した「はちどり」のオープニング企画として、森のとなりの小屋に焦点を当てた作品がご覧いただけます。歴代の住人が塗り重ねたペンキの跡をはじめ様々な生活の記憶が刻まれた、団地の一室に位置するギャラリーという空間ならではの「小屋」のかたちを、訪れた人が目撃し、そして小屋づくりに参加できるしかけを用意いたします。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

開催概要

開催期間：2011年6月17日(金)～30日(木)
開催場所：中野/阿佐ヶ谷、中目黒、烏山の各店舗・ギャラリー
(詳細は下記に記載)

主催：gallery&workshop はちどり
お問合せ：yoshimiyatori@gmail.com
080-2980-5508

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

「森のとなり商店」

ある国とある国の境目に、大きな森がありました。
となりの国へいくためには、必ずこの森を通らなければなりません。

たいそう大きな森だったので、
旅人たちの中には、迷ってしまう者もありました。

右も左もわからなくなって、途方に暮れてしまったら、
自分の持ち物の中で一番重いものを、木の枝にかけること。
そして、その木を背にして、ずっとずっとまっすぐ、歩き続けること。
すると必ず、2回目の朝には、目的地の地へ辿り着いているのです。

ふしぎな森のとなりには、
小さな小屋がぼつんとひとつ建っていて、
おばあさんがひとり、住んでおりました。
旅人たちが森に残した品々を、拾い集めること。
それが、おばあさんの仕事です。

彼女は知っていました。
旅人たちの置き土産をそのままにしておいたら、森は枯れていってしまう。
おばあさんは、森から持ち帰ったあれこれに魔法をかけて、
あたらしい姿へと生まれ変わらせていきました。

そうして、ときどきそれらを、森のとなりの小さな小屋にならべて、
お店をひらいておりました。

そのお店は人々から、「森のとなり商店」と
呼ばれているそうですよ。



：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

■第1章 chapter1

2011年6月17日(金)～22日(水)
中野および阿佐ヶ谷にて展示販売とワークショップを開催。

【1】作品展示

「森のとなり商店」の世界観を象徴する作品を展示いたします。
場所：小さな無国籍料理店 カルマ (中野区中野5-32-9)
<http://karma-marka.org/>
期間：2011年6月17日(金)～22日(水) 12:00～24:00
入場：無料(ただし飲食店のため要オーダー)

【2】作品展示および販売

「森のとなり商店」を実際に開店。
バッグやアクセサリー等の商品をお買い求めいただけます。
場所：petit fille inelle ※通称イネル(杉並区阿佐ヶ谷北2-12-7)
<http://inelle.petit.cc/>
期間：2011年6月17日(金) 18日(土) 19日(日) 13:00～19:00
入場：無料(ただし飲食店のため要オーダー)

【3】ワークショップ「夜の仕事」

伊藤がこれまでも行ってきた、「メモリアルブローチワークショップ」を開催します。
参加者同士が、持ち寄った古着をもとに、材料を交換しながらブローチをつくります。
場所：曜日変わりカフェ una camera livera ※通称ウナカメ(中野区中野2-12-5 メゾンリラ101)
<http://www.unacame.com/>
日時：2011年6月17日(金) 19:00～21:00
参加費：2000円(お茶、お菓子付き)

【4】ワークショップ「朝の仕事」

中野から阿佐ヶ谷まで、道ばたにある様々な「旅人の落としもの」を拾いながら歩き、拾い集めた材料でチャームを作成するワークショップ。朝ご飯つき。
開催場所：中野駅～阿佐ヶ谷イネル前
開催期間：2011年6月19日(日) 8:00～11:00
参加費：2000円(朝ご飯、材料道具付き)

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

■第2章 chapter2

作品展示および販売。第1章で行ったワークショップの記録もご覧いただけます。
期間：2011年6月24日(金)～30日(水) 12:00～19:00
場所：sakumotto (目黒区上目黒2-30-6 (HAPPA内))
<http://www.sakumotto.jp/>

：：：：～

■第3章 chapter3

作品展示(来場者参加型)
期間：2011年6月25日(土)～30日(木) 12:00～17:00
場所：gallery&workshopはちどり(世田谷区北烏山3-13-16 烏山北住宅308号室)
<https://sites.google.com/site/hachidori888/>
入場：見学無料(参加希望の方：500円)
※作品は四面をカーテンで覆ったような形になる予定です。
参加される方が作品の一部を切り取り、用意された布を縫い込んだり絵を描いたりして
会期中に小屋を変化させていきます。
パーティー：6月25日(土) 13:00～15:00
13:00からのパフォーマンスでは作家が小屋に最初の記憶を刻みます。みなさまお気軽にお越し下さい。

：：～

作家紹介

伊藤さち

1983年生まれ

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科卒業。

立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻修了。

「衣服と記憶(とその周辺)」を気にしながら独学で制作をスタートし、古着や布や糸を使った作品制作やワークショップを行っている。

縫う&編むレーベル「homam(ほまむ)」主宰。

公式サイト <http://homamoh.com/>

2009年

個展「森のとなり商店」ギャラリーきゃべつ畑

「つぎはぎサーカス」会場デコレーション 七針

2010年

here and there vol.10 発売記念展「Circles in Blue」VACANT

グループ展「100年前の古生地で、ART」Gallery Porter Classic

「よまむのテーブル」VACANT

2011年

墨東大学講座「編み編む編まれ編むとき編めば」墨東大学京島校舎

「ラッピングバッグワークショップ」かぐれ表参道

ワークショップ「古着でつくる2月26日のブローチ」練馬区美術館

「メモリアルブローチワークショップ」浜松 naru

gallery&workshopはちどり

2010年9月、祐天寺にオープン。

2011年6月、世田谷区烏山にある団地にてリニューアルオープン。